



The Y's Men's Club of Gotemba

第371号

4月例会

国際会長主題 私達の未来は、今日より始まる。

アジア地域会長主題 ワイズ運動を尊重しよう

東日本区理事主題 明日に向かって、今日動こう。

富士山部部長主題 “富士山のように大きな心で奉仕しよう”

御殿場クラブ会長主題 思いやりの心で楽しく奉仕

御殿場クラブ活動方針 1. 楽しい例会と卓話の充実

1. DBCを始め、他クラブとの交流

1. 東山荘を始め、奉仕作業の充実

1. 更なるメンバーの増強

会長	前原 末子
副会長	鎌野 泉・堀口 廣司
書記	山本 光子
会計	稻葉 久仁子
監事	金光 京子

2017年4月度例会プログラム

時間 2017年4月14日（金）18時30分
 場所 YMCA東山荘
 受付 稲葉Y's・鈴木Y's
 司会 高橋啓子Y's

1	点鐘	会長
2	開会の言葉	司会
3	ワイズソング	一同
4	ワイズの信条	司会
5	聖句について	堀口Y's
6	会長挨拶	会長
7	ゲスト・ビジター紹介	会長
8	食前感謝	小野麻利子Y's
9	卓話 防災について	神野義孝様
10	誕生日・結婚記念日祝い	各自
11	スマイル・YMCA基金	金光京子Y's
12	閉会の言葉	司会
13	閉会点鐘	会長

だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。人の怒りは神の義を実現しないからです。

（ヤコブの手紙1章19節、20節）

他クラブ例会日一覧です。

例会日程、時間、場所の変更がありますので、例会参加の場合は金光ドライバー委員長へ連絡の上、ご出席下さい。

熱海クラブ 4月24日（月）KKRホテル熱海

沼津クラブ 4月11日（火）ニュー・ウェルサンピア沼津

伊東クラブ 4月10日（月）暖香園ボウル2F

三島クラブ 4月18日（火）アモール・エテルノ・才

下田クラブ 4月19日（水）下田東急ホテル

熱海グローリークラブ 4月26日（水）KKRホテル熱海

御殿場クラブ 4月14日（金）YMCA東山荘

富士クラブ 4月12日（水）ホテルグランド富士

富士宮クラブ 4月25日（火）パテオン

4月お誕生日おめでとう

Happy
Birthday
to you!

4月ご結婚おめでとう

自己申告してください。



3月例会報告

在籍数	25名	メネット	1名	スマイル報告	27,000	BF活動切手	0pt
出席者	21名	コメット	0名	スマイル累計	841,820	現金	0pt
メキヤッフ	0名	ゲスト	2名	YMCA基金	4,795	累計	0pt
出席率	84%	ビジター	7名	YMCA累計	306,748		
修正出席率	100%	出席者合計	31名				

3月例会報告

杉山 将己

春とは申せど二日程前から寒の戻りとなり、厳しい寒さを感じる中での3月の第一例会でした。

杉山次子ワイズの軽快な司会により開式となり、まずは前原会長の開会点鐘があり、引き続き前原会長挨拶では、去る2月24日に、熱海グローリークラブの第59代国際会長を務められ、日本のワイズメンズクラブの親とも言える竹内敏朗様が逝去されたとの報告があり、後日お別れ会が行われるとの事でした。

更に、本日は富士五湖クラブから原会長を始め6名のワイズメンと、甲府21クラブより茅野ワイズメンの皆様方にお越し頂き、楽しい合同例会になると期待しますとの挨拶がある。堀口ワイズより「悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい」との聖句を戴きました。勝又貴恵子ワイズの食前感謝では、子どもの頃は家族揃っての食事が当たり前でしたが、現在ではそのような機会がなかなか得られない、こうしてワイズの皆様と一緒に食事ができることが非常に楽しみであり、感謝をして頂きたいと思いますとのお言葉を戴き、美味しい料理に舌鼓をうつ。

ゲスト・ビジターの皆様のご挨拶では、富士五湖クラブの原会長より、クリスマス例会を楽しみにしていたのですが、お招きが無かったので、今日は新しくなった東山荘を見たくて大勢でやって来ました、更に、望月勉・喜代子ワイズも参加の予定でしたが奥様の喜代子ワイズが体調を崩され参加出来ず残念であり、又心配でもあるとの事でした。後に望月様より連絡があり奥様は落ち着いているとの事で、皆安堵する。

本日は、何時もブリテンやその他でお世話に

なっている、横山幹さんに特別参加をして頂いていますが、横山さんより、初めてワイズの例会に参加させて頂き、嬉しさと感動で一杯ですとの事でした。

今月は特に楽しい例会にしようとの事で、若林久美子ワイズの施設（平成の杜）の職員である、杉山知宏様をお願いし、ギターを弾きながら歌ってもらう音楽会です。

杉山様は日頃施設の入所者の方々に歌を聞かせて楽しませているそうです。

〔はるよこい〕から始まり〔涙そうそう〕まで16曲。途中から皆で輪になって手をつなぎ歌い、とても楽しい一時だったと思います。



堀口所長より「にこにこキャンプ」支援の御礼と3月11日に行われる「防災オープンハウス」のお願いがあり、前原会長の閉会点鐘で例会閉会となる。

ゲスト・ビジターを含め総計31名の大変賑やかな例会でした。



寿大学に学ぶ



高杉 寿徳

「寿大学」知つてはいたが、人ごとで自分には縁がない所と思っていた。

退職後の日々はそれなりに充実していたが、一年の経過が益々早く感じられる様になり、この辺で充電しなくてはと決心、勇気を出して妻とともに入学することにした。

「大学」の二文字は、私にとって眩しいものであり、戦中、戦後の貧しく厳しい時代に育った私には本当に遠い遠い夢の世界だった。

なので、「大学」に学べる嬉しさと期待で心躍る気持ちで、4月16日の入学式に臨みました。ふじざくらの交流ホールでの入学式では若林市長の祝辞と講話、来賓の祝辞と想像していたより盛大な式次第で感激も新たに緊張の思いだった。ひとり一人の入学生の名前が呼ばれて、「はい！」と声が詰まる有様だった。

77人の同期生が15班に分かれて、班ごと行動することになるのだが、最初の頃はネームプレートを頼りに名前と顔を覚えるのが大変。回を重ねるごとに特に同じ班の人達とは和やかな会話ができるようになった。

5月の市内施設見学に始まり、6月・終活講座、7月は大型バスに乗り浜岡原発・中日本ネクスト等の社会科見学と続く。半日を1単位とし全21単位の課程を午前10時から昼食休憩をはさんで午後3時まで受講するというスケジュールだったが、担当スタッフの配慮が素晴らしい、午前中講義の時は午後はスポーツや手工芸と、飽きずに疲れずの時間割の見事さに感心した次第。また、自力通学の困難な方のためには送迎車もあり兎に角、

至れり尽くせりの心配りの中、楽しく和やかに学び全課程を無事終了した。

卒業式では、リハーサルまであり式次第に則り國家齊唱(何年ぶり?)卒業生の名前が一人ひとり呼ばれ立派な卒業証書を授与された。

各講座は夫々専門の講師から学ぶことができ、日常生活では知り得ない数多くのことを習得でき、また、多くの方々と交流を持つ事が出来たこの一年間を忘れないで次のステップとしようと思う。



B F だ よ り

2017年3月31日集計分

日中は春の気配ですが朝晩はなかなか冷えますね！ご家族の皆様はいかがでしたか？

不要になったものを再生する機能を十分に發揮して？当クラブではプルリング（プルタブ）や使用済み切手の収集を心がけています。

今はプルリングを杉山真代ワイスが150グラム届けてくださいました。ありがとうございました。

去る3月21日にプルリングを2400グラム小山町福祉協議会にお届けしました。

手紙が来たら先ず切手を切って・ジュースやビールを飲んだら先ずプルリングを・・・合言葉に収集を！！

わたしたちに今、できること
～ぼうさい体験オープンハウスに協力～

横山 幹

3月11日の土曜日、YMCA東山荘にてぼうさいたいけんオープンハウスが開催されました。

今回は新しい本館になってから初めてのオープンハウスで、市民協働型まちづくり事業として御殿場市の危機管理課との協働の下、防災都市御殿場づくり体験の日として3年間にわたって行われる初年度のものです。10:00からの開会に先立って、午前9時に御殿場ワイズのメンバーも続々と東山荘に集まつきました。



6年目を迎えた東日本大震災記念日に合わせ、様々な体験を通して、東海地震などの切迫性が指摘されている巨大地震、火山の噴火、ゲリラ豪雨や台風の風水災害時に的確な行動をすることができる知識や技術を学び、市民の自助・共助の防災意識の向上を図り、東山区や御殿場市との公助のありかたを考える内容でした。熊本YMCA職員による熊本地震の体験談や、段ボールベットなどの避難所用具の設営体験、心が不安定になった被災者がくつろげるタッチケア、負傷者の応急手当や、搬送方法などを学びました。起震車・煙体験ハウスによる地震・火災体験もありました。御殿場ワイズのメンバーには、駐車場案内を始め、大震災から復興途

上にある東北・熊本の名産品、特産品の販売をしていただきました。ワイズの団結力で、たくさんの商品を売っていただくと共に、ワイズのみなさんにも購入していただきました。お買い物による復興支援は「わたしたちにいま、できること」のひとつです。ご協力ありがとうございました。

災害は忘れたころにやってくる。もしもの時に適切な判断、適切な行動をして、家族や、周りの人、自分自身を守っていきたいと改めて考えた1日でした。

